

# 2023年度 入学試験 **数学** 問題冊子

早稲田大学系属 早稲田渋谷シンガポール校

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かず、下記の注意事項をよく読んでください。

## 注意事項

1. 問題は、本冊子の p. 1～p. 7 となります。
2. 解答は、別紙の解答用紙に記入してください。
3. 「始め」の合図があるまで、問題冊子、解答用紙を開かないでください。
4. 監督者が「始め」の合図をしてから、問題冊子と解答用紙に、受験番号と氏名を記入してください。
5. 解答中に何か用事がある場合は、黙って手をあげてください。
6. 解答中に問題冊子や解答用紙の汚れ、印刷の不鮮明な箇所に気付いた場合は、黙って手をあげ監督者に申し出てください。
7. 「止め」の合図で筆記用具を置き、監督者の指示に従って解答用紙の回収を待ってください。
8. 問題冊子も回収します。持ち帰らないでください。

### ※解答上の注意

試験中に紙をやぶるなどして図形を作ってははいけません。  
解答欄には答えのみを最も簡単な形で記入してください。  
分数を答えるときは、それ以上約分できない分数で、  
 $\sqrt{\quad}$  を用いて答えるときは、分母に  $\sqrt{\quad}$  を含まない形で、  
比を答えるときは、最も簡単な整数比で答えてください。

受験番号						氏名



[余白]

1

次の問いに答えなさい。

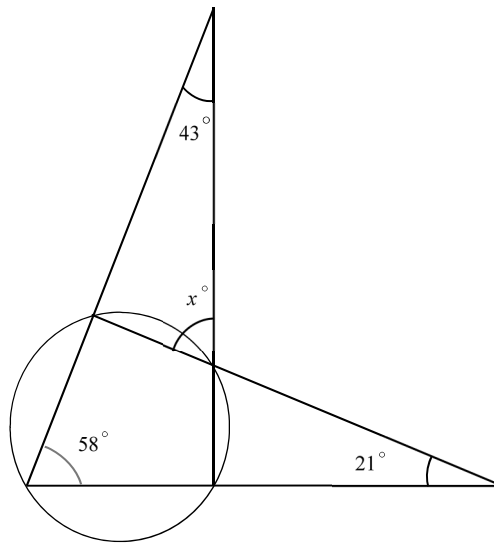
(1)  $\left(-\frac{1}{4}ab^2\right)^2 \div \left(\frac{ab}{4\sqrt{2}}\right)^2$  を計算しなさい。

(2) 連立方程式  $\begin{cases} 2x-3y=4 \\ 5x+6y=7 \end{cases}$  を解きなさい。

(3) ある数  $a$  を 5 倍した数は,  $a$  に 5 を加えた数と等しくなるという。定数  $a$  の値を求めなさい。

(4) 2つのサイコロを同時に投げるとき, 出る目の数の和が 10 以下となる確率を求めなさい。  
ただし, サイコロの 1 から 6 までのどの目が出るのも同様に確からしいとする。

(5) 次の図の  $x$  の値を求めなさい。



(6)  $\sqrt{11}$  の小数部分を  $a$  とするとき、 $a^2 + 6a$  の値を求めなさい。

(7) 次の10個のデータがあるとき、中央値を求めなさい。

12, 14, 17, 23, 31, 25, 21, 28, 10, 14

(8) 平行四辺形  $ABCD$  について成り立つものを次の選択肢ア～カからすべて選び、記号で答えなさい。

ア  $AB=CD$

イ  $AC=BD$

ウ  $\angle ABC = \angle BCD$

エ  $\angle ABD = \angle CDB$

オ  $\angle ABC + \angle BCD = 180^\circ$

カ  $\angle ABC + \angle CDA = 180^\circ$

2

原点を  $O$  とする  $xy$  座標平面上に、下の図のような放物線  $y = ax^2$  ( $a > 0$ ) …①

直線  $y = \frac{1}{3}x + 2$  …②

直線  $y = cx$  ( $c < 0$ ) …③

がある。また、図中の各点について、

$A, B$  : ①と②の異なる2つの交点

$C$  : ①と③の交点のうち  $O$  でないほうの点

$D$  : ②と③の交点

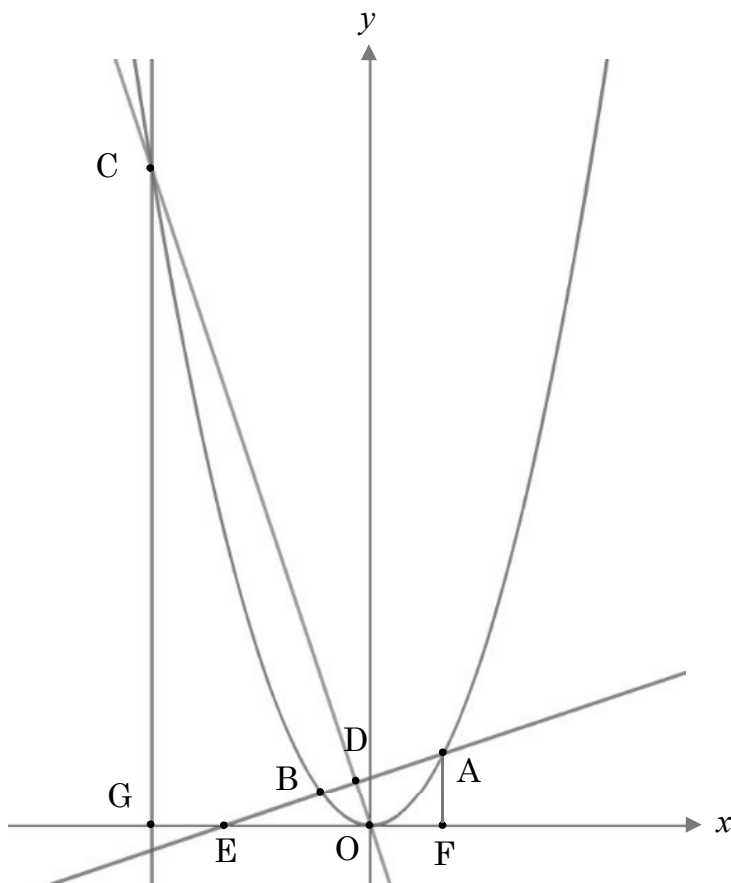
$E$  : ②と  $x$  軸の交点

$F$  : 点  $A$  から  $x$  軸に引いた垂線と  $x$  軸の交点

$G$  : 点  $C$  から  $x$  軸に引いた垂線と  $x$  軸の交点

である。 $F(3,0)$  のとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 定数  $a$  の値を求めなさい。
- (2)  $\triangle AFE \sim \triangle OGC$  であることを用いて、 $CG : GO$  を考えることにより、定数  $c$  の値を求めなさい。
- (3)  $\triangle ADO$  の面積を  $S_1$ 、 $\triangle ABCD$  の面積を  $S_2$  とするとき、 $S_1 : S_2$  を求めなさい。



3

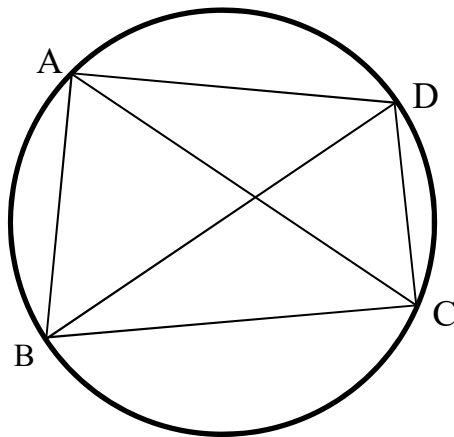
3つの異なる食品A, B, Cの( )内の量に含まれるタンパク質, 脂質, 糖質の量は下の表のとおりである。このとき, 次の問いに答えなさい。

- (1) 食品A 100グラムにタンパク質は $a$ グラム含まれている。定数 $a$ の値を求めなさい。
- (2) 食品Aを $a$ グラム, 食品Bを $b$ グラム合わせると, タンパク質がちょうど36グラム, 糖質がちょうど2グラム含まれていた。定数 $a, b$ の値をそれぞれ求めなさい。
- (3) 食品Aを $a$ グラム, 食品Bを $b$ グラム, 食品Cを $c$ グラムすべて合わせると, タンパク質がちょうど32グラム, 脂質がちょうど18.5グラム, 糖質がちょうど56.5グラム含まれていた。定数 $a, b, c$ の値をそれぞれ求めなさい。

	食品A (150グラム)	食品B (300グラム)	食品C (200グラム)
タンパク質	30グラム	15グラム	6グラム
脂質	18グラム	10グラム	2グラム
糖質	0グラム	5グラム	72グラム

4

下の図は、ある円周上に4点A,B,C,Dをとり、異なる2点を結んだものである。  
次の問いに答えなさい。



和子さんは、6つの線分AB,CD,AD,BC,AC,BDについて、次のことが成り立つと予想した。

和子さんの予想

$$AB \times CD + AD \times BC = AC \times BD$$

上の和子さんの予想が成り立つことを、次のように証明した。

- (1) 証明の空欄  $\square$ ア~ $\square$ キには、いずれも2つのアルファベットが入る。このうち、「AC」が入るものをすべて選び、記号で答えなさい。

証明

対角線BD上に  $\angle DAM = \angle BAC$  となるように点Mをとる。

$\triangle ADC$ と $\triangle AMB$ において、 $\angle ACD = \angle$ ア $\square$ ,  $\angle DAC = \angle$ イ $\square$  だから、

$\triangle ADC \sim \triangle AMB$

$$\square$$
ウ $\square$  :  $AB = CD$  :  $\square$ エ $\square$

$$\text{つまり } AB \times CD = \square$$
ウ $\square$   $\times$   $\square$ エ $\square$   $\dots$ ①

$\triangle ABC$ と $\triangle AMD$ においても同様にして、

$$\square$$
オ $\square$  :  $AD = BC$  :  $\square$ カ $\square$

$$\text{つまり } AD \times BC = \square$$
オ $\square$   $\times$   $\square$ カ $\square$   $\dots$ ②

$$\begin{aligned} \text{①+②より } AB \times CD + AD \times BC &= \square \text{キ} \square \times (BM + DM) \\ &= \square \text{キ} \square \times BD \end{aligned}$$



和子さんの予想が正しいことを証明できたので、以下これを「和子の定理」と呼ぶことにした。続いて、和子さんは、ある円周上に正五角形ができるように5点を取り、異なる2点をすべて結んだのちに、次のように考えた。

(2) 下の和子さんの考えの中にある $\boxed{X}$ に適する値を答えなさい。

#### 和子さんの考え

5点のうち、異なる2点を結んでできる線分の長さは2通りあり、「和子の定理」を使うために6つの線分を選ぶ。正五角形の1辺の長さが1であるとき、もう一方の線分の長さは $\boxed{X}$ と求まる。

さらに、和子さんは、ある円周上に正七角形ができるように7点とり、異なる2点をすべて結んだのちに、次のように考えた。

(3) 下の和子さんの考えの中にある $\boxed{Y}$ に適する式を $a, b$ を用いて表しなさい。

#### 和子さんの考え

7点のうち、異なる2点を結んでできる線分の長さは、3通りある。  
いま、線分の長い順に $a, b, c$ とし、それぞれの線分を2つずつ、計6つの線分について「和子の定理」を使うと、 $\frac{1}{c} = \boxed{Y}$  という関係式が成り立つ。

5

A,B,C,Dの4人が、次のルールに従ってひとつのボールの受け渡しを行っている。

【ルール】

ボールを持っている人が、A,B,C,Dの名前がそれぞれひとつずつ書かれた4枚のカードの中から1枚を引き、引いたカードに書かれている名前が引いた人の名前でないときはそのカードに書かれた名前の人にボールを渡し、引いた人の名前ときはもう1枚カードを引き 2 枚目に引いたカードに書かれた名前の人にボールを渡す。

最初にAがボールを持っていて上記ルールによるボールの受け渡しを繰り返すとき、次の問いに答えなさい。ただし、名前の書かれた4枚のカードについて、どのカードを引く確率も同様に確からしいとする。

- (1) ボールの受け渡しが1回だけ行われた結果、Bがボールを持っている確率を求めなさい。
- (2) ボールの受け渡しが2回だけ行われた結果、Bがボールを持っている確率を求めなさい。
- (3) ボールの受け渡しが3回だけ行われた結果、Bがボールを持っている確率を求めなさい。

1

(1)	(2)	□
(3)	(4)	
$a =$	$(x, y) = ( \quad , \quad )$	
(5)	(6)	
$\angle x =$ (度)	(7)	(8)

2

(1)	(2)	□
$a =$	$c =$	
(3)	$S_1 : S_2 =$	

3

(1)	(2)	□
$a =$	$(a, b) = ( \quad , \quad )$	
(3)	$(a, b, c) = ( \quad , \quad , \quad )$	

4

(1)	(2)	□
(3)		

5

(1)	(2)	□
(3)		

受験番号							氏名	